



ソリューション概要

SAP HANA向け ライフサイクル管理

SAPシステムのコピー作成を自動化してワークフローを簡易化

主なメリット

- プロジェクトの期間を短縮
- ストレージ クローニング テクノロジーにより、SAPシステムのプロビジョニングをスペース効率よく高速で実行
- アプリケーションと統合されたワークフローで、自動化を通じた簡易化を実現
- SAP Landscape Management (SAP LaMa) などのSAP管理ツールと密接に統合
- プライマリ サイト、オフサイトバックアップ、ディザスタ リカバリ ロケーションなど、オンプレミスやクラウドのソース データセットを柔軟に選択

主なビジネス課題

現代の企業は、競争力の強化を目指す中で、プロジェクトを迅速に進めて運用開始までの時間を短縮する方法に注目しています。それを実現するためには、タスクの自動化やプロセスの簡易化によって、エンタープライズ アプリケーションのライフサイクルを改善しなければなりません。従来のSAPライフサイクル管理では、開発とテストに使用するシステムのプロビジョニングは手作業が主体だったためミスを避けられず、時間もかかりがちでした。そのためイノベーションに遅れが生じ、ビジネス ニーズにすばやく対応できずにいました。

現在のIT部門が直面しているのは、主に次のような課題です。

- 新機能の実装に時間がかかる
- 自動化できない
- オークストレーション ツール間の関係がなく、生産性が損なわれる

ソリューション

こうした課題を解決するのが、ネットアップのライフサイクル管理ソリューションです。SAP Landscape Management (SAP LaMa) をはじめ、SAP管理者が日々の運用で使用するツールと完全に統合されています。プリプロセスからポストプロセスまで、プロビジョニングのワークフローを簡易化することを狙いとし、本番用システムのコピーを作成する際に必要となる、ソフトウェア レイヤとストレージ レイヤに関するすべてのタスクに対応しています。管理者がマウスを数回クリックするだけで、開発とテストのための環境を構築でき、ライフサイクル管理の改善に威力を発揮します。

開発テスト用SAPシステムのプロビジョニングをエンドツーエンドで完全に自動化

SAPの開発テスト環境のシステム プロビジョニングを完全に自動化するためには、ストレージ レイヤとSAP LaMaが密接に統合していなければなりません。それを実現するのが、NetApp Storage Services Connector (SSC) です。SSCは、SAP LaMaとストレージ システムを結ぶゲートウェイの役割を果たし、プリプロセスからポストプロセスまでのワークフロー全体を、SAP LaMaの標準UIを使って完全に自動化できます。たとえば、クローニングなどのストレージの管理作業をSAP LaMaから直接実行できます。SAP LaMaは、SSCを通じてFlexClone®の機能にアクセスし、ネットアップストレージ システムに本番用システムのコピーを作成します。

SSCがクラウドに対応したことで、ソリューションの柔軟性はさらに高まっています。Amazon Web Services (AWS) やMicrosoft Azureなど、ハイパースケーラのクラウドでNetApp Cloud Volumes ONTAP®ソフトウェアが稼働していれば、ストレージのクローンをプロビジョニングできます。

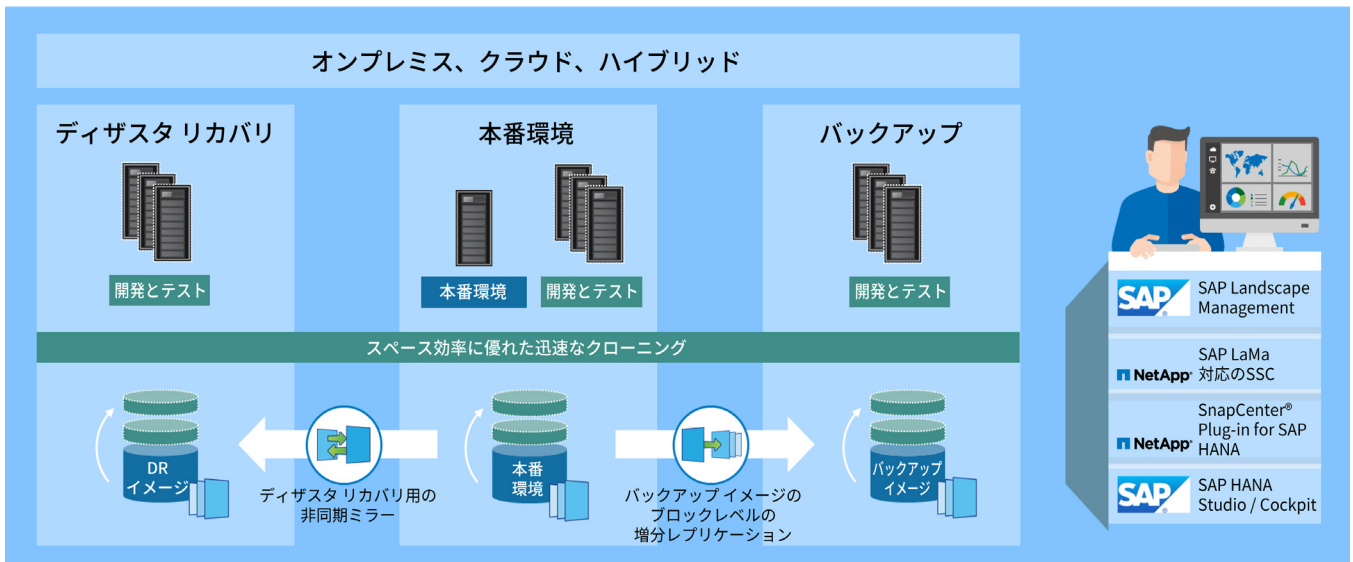


図1) SAP HANA向けライフサイクル管理

SAP HANAの開発テストシステムを半自動でプロビジョニング

SAPアプリケーション、データベース、ストレージという3つのレイヤをそれぞれ別の管理者が担当している場合、SAPシステムのタスクはSAP LaMaで自動制御し、ストレージレイヤとデータベースレイヤの残りのタスクはNetApp SnapCenter®ソフトウェアで対応できます。アプリケーションの一貫性は、SnapCenter用のSAP HANAプラグインで確保し、HANAのデータベースレイヤで必要な作業も含めて、SAPの開発テスト環境のシステムプロビジョニングを自動化できます。

ストレージクローニングテクノロジーにより、

SAPシステムのプロビジョニングをスペース効率よく高速で実行

このソリューションは、システムのコピーを高速に作成するFlexCloneのテクノロジーを活用しています。従来の手法でコピーを作成すると何時間もかかりますが、革新的なFlexCloneのシンクローニングテクノロジーなら、非常に大きなボリュームでも、わずか数秒でクローニングできます。クローンが使用するのはメタデータ用のわずかなスペースのみです。新たなスペースを消費するもの、データに変更や追加が行われた場合に限られます。クローンは、本番用、ディザスタリカバリ、バックアップストレージシステムのいずれからも作成できます。

ソリューションの構成

ネットアップライフサイクル管理ソリューションの構成要素は次の3つです。

- **SnapCenter**：一元的な管理と監視を実現し、SAP HANAをはじめとする多種多様なデータベースやアプリケーションのバックアップ、リストア、クローニングの管理にまとめて対応できます。
- **Storage Services Connector**：ネットアップが実装したSAP LaMa対応のSAPストレージアダプタです。
- **FlexClone**：ストレージボリュームとLUNのコピーを、スペース効率よく高速で作成できるテクノロジーです。本番環境のデータセットのフルコピーを必要なだけ作成でき、テスト中にデータが破損しても、数秒でテストを再開できます。

詳細な技術情報

- TR-4667：『Automating SAP System Copies』
- TR-4018：『Integrating NetApp ONTAP Systems with SAP Landscape Management』

ネットアップについて

ネットアップは、ハイブリッドクラウド環境におけるデータ管理のオーソリティです。クラウド環境からオンプレミス環境にわたるアプリケーションとデータの管理を簡易化し、デジタル変革を加速する包括的なハイブリッドクラウドデータサービスを提供しています。グローバル企業がデータのポテンシャルを最大限に引き出し、お客様とのコンタクトの強化、イノベーションの促進、業務の最適化を図れるよう、パートナー様とともに取り組んでいます。詳細については、www.netapp.com/jpをご覧ください。#DataDriven

ネットアップ合同会社

TEL:03-6870-7600 Email:ng-sales-inquiry@netapp.com

© 2019 NetApp, Inc. All rights reserved. NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/jp/legal/netapptmlist.aspx>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。SB-3978-0319-jaJP